

養護採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意	配 点		
1		(ア)	二十一		各 2 × 7	14	
		(イ)	予防処置				
		(ウ)	予防接種				
		(エ)	特別支援学級				
		(オ)	修学旅行				
		(カ)	座席				
		(キ)	保健指導				
2	1	切断された指	清潔なガーゼに包み、清潔なビニール袋に入れる。さらに、ビニール袋を氷水で冷やす。	内容を正しく捉えていれば、表現が異なってもよい。	各 3 × 2	24	
		受傷部位	清潔なガーゼ等で直接圧迫止血し、受傷部を心臓より高い位置に挙げる。				
	2	見直すべき対応		理由	3つ書かれていればよい。 見直すべき対応と理由がともに合っているものだけを正答とする。 内容を正しく捉えていてもよい。		各 6 × 3
		事故発生からしばらくの間、学級担任が一人に対応した点。		第一発見者はすぐに応援を要請し複数で対応することが原則であり、一人で対応したため、児童Bの処置が遅れ、他の児童にも混乱や不安を与えたため。			
		事故発生から救急搬送まで児童Bの対応を継続的に行う教員がいなかった点。		児童Bが急変する可能性があり、また、受傷後からの様子を記録し、救急隊に情報伝達する必要があったため。			
		校長に救急車要請の判断を委ねた点。		救急処置や救急搬送が遅れ、場合によっては児童Bの治療後の経過に影響を与える可能性があり、また、救急車の手配は通報者を限定する必要がないため、第一発見者をはじめ誰でも即座に通報しなくてはならないため。			
		緊急時用に用意していた救急セットや公用携帯電話が活用されなかった点。		救急セットや公用携帯電話が早い段階で事故現場に用意できていれば、何度も職員室を往復することなく、児童Bの処置や保護者連絡等ができたため。			
	3	1	(ア)	鎖骨			各 2 × 6
(イ)			胸骨				
(ウ)			橈骨				
(エ)			尺骨				
(オ)			腓骨				
(カ)			脛骨				
2		②			2		
3		(1)	介達痛		各 2 × 2		
	(2)	踵					

養護採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号			正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意	配 点	
4	1	(a)	5			各 2 × 9	3 9
		(b)	3				
		(c)	ランドルト環				
		(d)	500				
		(e)	1,000				
		(f)	10				
		(g)	2				
		(h)	遮眼器				
		(i)	30				
	2	・両肩の高さの左右不均衡の有無 ・肩甲骨の高さと位置の左右不均衡の有無 ・体の脇線の左右不均衡の有無 ・背部の左右の高さの不均衡の有無 ・腰部の左右の高さの不均衡の有無		4つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なっている よい。	各 3 × 4		
	3	・皮膚の色や光沢 ・貧血の有無 ・皮下脂肪の状態 ・筋肉や骨格の発達の程度		3つ書かれていればよい。 問いを正しく捉えていれ ば、内容は異なっている よい。	各 3 × 3		
5	1	(ア)	③			各 2 × 4	1 7
		(イ)	⑤				
		(ウ)	②				
		(エ)	④				
	2	(1)	蛋白尿は6～12時間で陰転することがあるから。		内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なっている よい。	3	
(2)		体位性		起立性 もよい。	3		
(3)		腎臓から大量の蛋白尿が出て、血液中の蛋白が減り、むくみ が出現する病態。		内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なっている よい。	3		
6	1	(a)	環境衛生活動			各 3 × 3	1 4
		(b)	健康課題				
		(c)	健康情報				
	2	オーバードーズ			2		
3	人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし改善で きるようにするプロセス。		内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なっている よい。	3			

養護採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

【注意】問題によっては、部力点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意	配 点	
7	1	数字	正しい語	順序は問わない。 数字と正しい語がともに合っているものだけを正答とする。 思春期早発症は、性早熟症もよい。	各 3 × 3	20
		①	エストロゲン			
		④	続発性無月経			
		⑤	思春期早発症			
	2	(1)	PMS		2	
		(2)	月経前不快気分障害	PMDD もよい。	3	
(3)		・月経の仕組みと月経に伴う心身の症状を理解させる。 ・生活習慣の見直しや心身の症状が現れた時の対処方法について実践できるようにする。 ・受診の必要性を理解させ、必要に応じて受診できるようにする。	2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているてもよい。	各 3 × 2		
8	1	うつ病		順序は問わない。 うつ病は、気分障害、感情障害 もよい。	各 2 × 4	33
		統合失調症				
		不安症				
		摂食障害				
	2	(1)	過度のストレスは心身の不調をきたす原因となることから、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和する。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっているてもよい。	3	
		(2)	精神疾患は思春期に発症することが多く、誰でも罹る可能性があるため、過度に不安になる必要はなく、回復可能である。また、早期発見・早期治療をすることで、症状の悪化を防ぎ、回復も早く、軽症で済むことが多いことを伝え、一人で不安を抱え込まないようにしたり、今の自分の状況を受け入れたりすることが大切である。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっているてもよい。	4	
	3	(1)	心の危機に気付く力	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているてもよい。	各 3 × 2	
			相談する力			
		(2)	T (Tell) は、言葉に出して心配していることを伝える。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているてもよい。	各 3 × 4	
			A (Ask) は、「死にたい」という気持ちについて、率直に尋ねる。			
L (Listen) は、絶望的な気持ちを傾聴する。						
		K (Keep safe) は、安全を確保する。				

養護採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意		配 点	
9	1	・児童生徒等の心身の健康状態 ・児童生徒等の疾病の治療状況 ・学校環境衛生の実態 ・学校保健組織の活動状況 ・保健教育の実施状況 ・各種保健衛生統計 ・地域の保健、衛生の課題 ・地域の保健、医療の動向		3つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているいてもよい。		各 3 × 3	
	2	「個別・日常指導」の内容	提案の理由	「個別・日常指導」の内容と提案の理由がともに合っているものだけを正答とする。 問いを正しく捉えていれば、内容は異なっているいてもよい。		各 6 × 2	
		けがの予防	資料1では、4月の外科的来室が年々増加傾向であることが分かる。一方、資料2では、4月に運動場の遊具の使い方について保健教育を計画していることから、4月にけがの予防に関する指導を行うことでけがの予防について意識させ、外科的来室を減らすことにつなげるため。				
		熱中症の予防	資料1では、例年7月に内科的来室が多いが、今年度は6月に増加している。腹痛による6月の保健室利用は例年程度であるが、頭痛や発熱を訴えて来室する児童が増えていることから、熱中症の疑いによる来室が推測される。また、資料2では、6月に運動会が予定されていることから、熱中症の予防について運動会の練習が開始される5～6月に指導することで、発生を予防することにつなげるため。				